

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Athlonデイサービスカケル		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な運動療育支援・指導 (利用者の能力や学校体育のニーズに合わせた運動療育を実施) 学習指導要領に合わせた運動プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の運動の苦手なに沿った運動プログラムの工夫。</li> <li>・職員間での指導力向上のための研修の実施。</li> <li>・運動量や運動の種類を確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方や子ども達に今の学校体育の状況や伸ばしていきたい部分の聞き取りをさらにに行い、連携していく。</li> <li>・知育や徳育と体育をさらに結びつかせることで、三育の効果を図る。</li> </ul>
2	地域で開催されているイベントへの参加 (ミーツザ福祉・パラダンスフェスティバル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室にとどまらず地域の中に入っていき、普段の教室内の療育でも社会の中で活動できるように練習をしている。</li> <li>・活動を保護者の方や地域の方に見ていただき、評価してもらうことで子どもたちの自信に繋げ、更なる成長へと導いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市などのイベントが多いので、教室近くのイベントにも参加していく。</li> <li>・他のデイサービスや児童館などと交流する機会を設けていく。</li> </ul>
3	療育クラスの種類の充実 (小集団療育(1～5名程度)と集団療育(10名)、部活動療育を併設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の様子を見て保護者の方と相談し、適切なクラスを案内している。</li> <li>・各クラスで特色を出して支援の方法やプログラムを工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに適切なクラスを選定し、ご案内する。</li> <li>・それぞれのクラスから集団での活動に活かせるような支援を行う。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用施設が狭く部屋が1つしかない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量や運動の種類も多くなってきているが、教室が狭いことで制限されてしまう。</li> <li>・気持ちを落ち着かせるような場所がないため、クールダウンが難しい場面がある。(他の児童に伝染することもある。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目によっては近隣の公園を使用するなどの工夫をする。</li> <li>・さらに広い施設がないか探し続けている。</li> <li>・カーテンなどで仕切りを作り、クールダウンできる空間づくりを行う。</li> </ul>
2	職員の入れ替わりが多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な働き手不足の影響もある。</li> <li>・運動を主に行っていることで、体力やパワーが必要となってくる。</li> <li>・妊娠、出産などの家庭の事情によるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用活動の強化。</li> <li>・多種多様な働き方の提供。</li> <li>・余裕のある人員の確保で、個々の負担軽減。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Athlonデイサービスカケル
------	-----------------

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 36名

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78.3	17.4	4.3	0	・思いっきり動きまわるには少し狭いかなと感じる。 ・10人での室内活動中をみたことがない。 ・もう少し広いスペースだと運動しやすいと思う。	運動する上では天井も狭いし、広さも十分ではない。今後は施設変更の検討もしている。施設変更までの間は引き続き限られたスペースで効率的に行うことと、公園なども利用する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	82.6	8.7	8.7	0	・異動や退職が多いので、不安に思うことがある。 ・責任者がいなくなる際は、別の責任者の方を配置していただきたい。	異動や退職が減らせるように、働き方を考えていく。 また移動やスタッフ変更になった場合も安心して通っていただけるように引継ぎを密に行う。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87	13	0	0	・事業所が2階なので、完全なバリアフリー化とは言えないと思う。	エレベーターがあるので2階までは来ていただけるが、エレベーターまでに段差があるので車イスの方などは利用しづらい。段差には坂をつけられないか管理会社と相談する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95.7	0	0	4.3	・いつ行ってもすっきり整頓されていると思う。	今後も引き続ききれいな状態を維持できるように、毎日5Sを徹底する。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	82.6	13	4.3	0	・運動の他にも徳育や知育などもしていただき、親の私も勉強になる。 ・子どもの性格を理解してくださっている。 ・とてもよく見てくれていると思う。活動おわりに送ってくれる時に報告内容も娘に合わせて声かけをしてくださるのがよく伝わる。 ・責任者不在は不安。	良い点は引き続き行っていく。 責任者が不在の際にも、同様の支援ができるよう研修や引継ぎを行う。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95.7	4.3	0	0		実際の支援の内容が分からない方もいらっしゃるので、情報発信をさらに行っていく。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	95.7	4.3	0	0		支援計画についてはさらに保護者の方と本人と相談しながらより良いものを作っていく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95.7	0	4.3	0		本人支援に固まってしまっている部分があるので、他の支援にも意識していく。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95.7	4.3	0	0		定期的に計画に沿っているか確認していく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95.7	0	4.3	0	・外出支援など、いろいろな所に連れて行っていただけて嬉しい。	今後も活動のプログラムに偏りがないように工夫していく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	47.8	8.7	39.1	4.3		児童クラブや児童館との交流はほとんどないので、今後はもっと地域の行事などに参加していきたい。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100	0	0	0		今後も継続していく。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100	0	0	0		今後も継続していく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	87	8.7	4.3	0		ご家族の方への研修や参加できるものを今ままで以上に取り入れていく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100	0	0	0		今後も継続していく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100	0	0	0		今後も継続していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95.7	4.3	0	0		今後も継続していく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	87	0	13	0	・きょうだい向けの支援についてはわからない。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	91.3	8.7	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95.7	4.3	0	0		
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	82.6	13	4.3	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91.3	4.3	4.3	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87	8.7	4.3	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	73.9	8.7	17.4	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91.3	8.7	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	73.9	4.3	21.7	0	・怪我に対しての簡単なでもいいので、冷やすなどの処置はしていただきたいです。	応急処置等、初期対応には努めているが、保護者様への説明や安心感に欠ける部分があると思うので、職員間でも共有し改善に努めていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	91.3	4.3	4.3	0	・責任者の方や子どもが慣れた頃に、職員の異動があるのは避けたい。	職員の配置に関して不安に思う声があるので、改善に努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	87	8.7	0	4.3		
	29	事業所の支援に満足していますか。	91.3	4.3	0	4.3	・先生が方からのコメントがとても前向きな言葉などで、次の課題なども明確でわかりやすく、どんなふうに通所させたのか読むのが大変楽しみです。 ・子どもの性格や特性を理解して対応してくださっていて感謝しています。この一年でものごく成長したと思いますし、コーチ達も成長と一緒に喜んでくださるのを感じています。 ・学校体育のフォローになるので、本人は心強く思っている。複数の同時動作や他にも療育的な運動や苦手な動きの強化、工作もしてもらえるので、保護者としても大変ありがたく思っている。	今後も継続していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 Athlonデイサービスカケル

公表日 2026年 3月 30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33.3	66.6	器具などの収納場所を工夫し、少しでも広い空間づくりを行っている。種目によっては近隣の公園も使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	66.6	33.3	活動に合わせて人員配置を行っている。	利用者の特性も考慮しながら増員を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	66.6	33.3	ラインの色を変える。 片づけ方の見本の写真を掲示。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	日々の清掃や整理整頓の徹底。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	33.3	66.6	カーテンで仕切ってスペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0	日々の療育の後にフィードバックを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	自己評価アンケートの結果をもとに改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	月1回の事業所ミーティングや日々の療育後のフィードバックでの意見を受け改善をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	66.6	33.3	同法人の療育事業部全体でのイベントに参加したり、合同で療育を行ったりすることでお互いに評価し合い改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	法人内での研修は月1回行っている。 外部の研修も積極的に受講するようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	作成し、公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0	半年に1度保護者の方と面談を行い、計画を作成している。	利用者本人との面談も行う。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	日々の療育後のフィードバックを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0	更新のタイミングで会議を行い、毎回計画を確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0	日々の療育の後にフィードバックを行っており、その結果を記録をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	目標については保護者の方と面談で相談し、同意の署名をいただいている。	地域と連携できる機会を増やしたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0	チームで分担し、毎月立案されたものについて討議して決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	曆に沿った活動なども取り入れている。 日々の活動についてもフィードバックで振り返り、改善をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	個々に支援する活動と集団で活動するものを取り入れてプログラムを組んでいる。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	療育前のミーティングで情報共有、注意事項の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	療育後にはフィードバックを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	毎日の活動の様子は記録に残し、課題については検証し改善している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	毎作成時に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100	0	三育の中に組み込んで支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	職員が全て決めて活動するのではなく、こどもたちが自分たちで選択する場面を多く設けている。自ら選択が難しい場合はサポートしながら一緒に選択している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	管理者が児童発達管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66.6	33.3	学校と情報の共有を行いながら支援を行っている。	まだまだ他の関係機関との連携ができていないので、密に行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0	保護者の方から連絡をいただくようにしている。また、HPなどで活動の予定を事業所でも確認するようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	66.6	33.3	同法人の児童発達支援とは連携して情報共有を行っている。また、他の児童発達支援利用の方は保護者の方からの聞き取りや相談支援事業所からの聞き取りで共有をしている。	他の児童発達支援との連携をさらに図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33.3	66.6	保護者の方への引継ぎは行うようにしている。聞き取りがあれば情報を共有している。	こちらからの発信はまだできていないので、引継ぎを密に行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	66.6	33.3	行政が行っている研修などに参加しながら助言を受けている。	今後は更なる連携を図り、助言をいただけるようにする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33.3	66.6	地域のイベントに参加したり、外出支援を計画することで地域の子供たちと交流する機会は設けている。	まだまだ地域の子供達との交流はできていないので、取り入れていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	66.6	33.3	支援時間に影響がない時には参加している。	更に積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	送迎時に保護者の方にお伝えし、共有している。また、日々の記録を見ていただき、共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33.3	66.6	毎月カフェを開催し、その中で研修を受けていただいたり相談会を行っている。	まだまだご家族の方向けに研修などを行っていないので、機会を増やしていく。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	契約時・説明会で行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	面談時に聞き取りや確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0	面談時に提示し、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	66.6	33.3	保護者の方々の交流の場は月に1度設けている。	参加される方が固定化しているので、たくさんの方に参加いただけるように工夫していく。きょうだいに向けての交流の場はないので、検討していく。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	66.6	33.3	対応フローがある。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	66.6	33.3	活動概要や行事内容については毎月配信している。	確認されていない方もいらっしゃるので、口頭で確認いただけるように伝えていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	写真の使用などは同意を得てから配信している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	視覚優位な児童には文字や絵を提示するなどの配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.3	66.6	地域が開催しているイベントに参加するようにしている。	事業所が運営しているイベントにも地域の方を招待していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	66.6	33.3	マニュアルの策定や訓練は同法人のいくつかの事業所と合同で行うようにしている。	ご家族の方への周知はまだ不十分であるので、発信を強化していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	66.6	33.3	マニュアルの策定や訓練は同法人のいくつかの事業所と合同で行うようにしている。	非常食などがまだ不十分であるので、確認し補充していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	66.6	33.3	てんかんや持病に関する情報は聞き取り共有している。	服薬については把握できていない部分もあるので、さらに情報を聞き取っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66.6	33.3	アレルギーについては把握し、留意している。	医師の指示書などを見せてもらったことはないの、そういった資料も参考にしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	器具を使用した運動などが多いので、安全かどうか危険な場所はないか定期的に確認をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	66.6	33.3	各児童の指導に当たっての留意点を保護者と共有し、スタッフに共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	66.6	33.3	ヒヤリハットは記入し、職員で共有している。	今後はさらに細かいヒヤリハットに気づき記録を残していくようにしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	定期的に虐待防止研修を実施し、記録も残している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0	現在は身体拘束をする場合は発生していないが、職員間で共有している。家族の方にもその場合は説明するようにしている。		